

大項目	中項目	小項目
		f 切断(小児の先天性奇形を含む)
		g 末梢神経障害
		h 骨形成不全
	C 中枢神経系	a 脳血管障害
		b 外傷性脳損傷
		c Parkinson 病、Parkinson 症候群
		d 脊髄小脳変性症
		e 脊髄損傷(頸髄損傷を含む)
		f 高次脳機能障害(失語、失認、失行、記憶障害、遂行機能障害等を含む)
	D 神経筋系	a 筋ジストロフィー
		b 筋萎縮性側索硬化症
		c 多発性筋炎・皮膚筋炎
		d 重症筋無力症
		e 多発性硬化症
		f ニューロパチー(Guillain-Barré症候群を含む)
		g 末梢神経損傷(腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む)
	E 運動発達系	a 脳性麻痺
		b 二分脊椎
		c 運動発達遅滞
		d 重症心身障害、Down 症を含む
	F 呼吸・循環系	a 慢性閉塞性肺疾患
		b 虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)
	G 代謝系	a 糖尿病
		b 腎機能障害
	H 感覚器系	a 視覚障害
		b 聴覚、前庭障害
	I その他の疾患・障害	a 摂食・嚥下障害
		b 排尿障害
		c 褥瘡
		d 熱傷
e 悪性腫瘍		
f 浮腫		
J 保健・福祉領域	a 予防保健医学	
	b 産業作業療法	

Ⅲ 作業療法治療学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 目的と領域	a 目的
		b 身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害
		c 急性期、回復期、維持期、終末期
		d 保健、医療、福祉
	B 組み立てと手順	a 目標設定
		b 介入方略(生体力学的方法、運動制御的方法、感覚統合的方法、認知-知覚的方法、作業遂行モデル、人間作業モデル、代償的方法、補装具療法、精神分析理論、発達理論、行動理論、集団理論、対人関係技術、心理的対処法、レクリエーション理論、環境調整を含む)
		c リスク管理
		d プログラム
2 基本介入手段	A 医学的管理	a リスク管理
	B 運動系	a ポジショニング
		b 関節運動、関節保護法
		c 筋再教育訓練
		d 筋力、筋持久力訓練
	C 運動制御、運動学習系	a 協調性の訓練
		b 巧緻性の訓練
		c バランスの訓練
		d 基本動作の訓練(構え、リーチ、把持、離し)
	D 呼吸・循環、代謝系	a 全身の持久力訓練
		b 全身調整
	E 感覚系	a 表在感覚・知覚再教育
		b 深部感覚・知覚再教育
		c 複合感覚・知覚再教育
	F 高次脳機能系	a 感情
		b 注意
		c 記銘、記憶
		d 認知
		e 行為
		f コミュニケーション
G 作業遂行障害		
H 運動発達系	a 姿勢・運動発達の促進	
	b 感覚・知覚・認知の発達促進	

大項目	中項目	小項目
		c 子どもの作業の発達促進
		d 家族・地域での生活支援
		e 代償法
	I 義肢装具	a 義肢(義手、義足)
		b 装具(上肢、体幹、下肢装具)
	J 基本動作	a 起居、移乗、移動
	K 日常生活活動	a 食事
		b 排泄
		c 更衣
		d 整容
		e 入浴
	L 生活関連活動	a 家事
		b 交通機関の利用
		c 余暇活動
		d その他
	M 自助具、福祉用具	a 起居、移乗、移動関連用具
		b 食事関連用具
		c 排泄関連用具
		d 入浴関連用具
		e 更衣関連用具
		f 整容関連用具
		g 調理関連用具
		h コミュニケーションに関する用具
		i その他の自助具・福祉用具
	N 環境調整	a 住環境
		b 家族関係
		c 職場環境
O 職業関連活動	a 職業関連活動	
P 社会参加	a 対人技能	
3 精神障害に対する介入	A 治療・援助目標	a リハビリテーション目標、長期目標、短期目標
	B 治療・援助構造	a 治療的態度、関わり方
		b 活動
		c 集団
		d 時間・頻度
e 場所		
C 治療・援助の場	a 精神科作業療法	

大項目	中項目	小項目	
		b 外来作業療法	
		c 精神科デイケア・ナイトケア・ショートケア	
		d 療養病棟	
		e 重度認知症治療病棟	
		f 精神保健福祉センター	
		g その他	
		D 病期別アプローチ	
	a 急性期		
	b 回復期(前期、後期)		
	c 維持期		
d 終末期			
4 各領域の治療	A 精神心理系	a 症状性を含む器質性精神障害	
		b 精神作用物質使用による精神および行動の障害	
		c 統合失調症、統合失調症様障害および妄想性障害	
		d 気分(感情)障害	
		e 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	
		f 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	
		g 成人の人格(パーソナリティ)及び行動の障害	
		h 知的障害	
		i 心理的発達の障害	
		j 小児期および青年期に通常発症する行動および情動の障害(広汎性発達障害、注意欠陥多動障害、学習障害を含む)	
		k てんかん	
		B 骨関節系	a 変形性関節症
			b 骨折
	c 関節リウマチとその近縁疾患		
	d 外傷・障害		
	e 靭帯損傷		
	f 切断(小児の先天性奇形を含む)		
	g 末梢神経障害		
	h 骨形成不全		
	C 中枢神経系	a 脳血管障害	
		b 外傷性脳損傷	

大項目	中項目	小項目
		c Parkinson病、Parkinson症候群
		d 脊髄小脳変性症
		e 脊髄損傷(頸髄損傷を含む)
		f 摂食・嚥下障害
		g 高次脳機能障害(失語、失認、失行、記憶障害、遂行機能障害等を含む)
		D 神経筋系
		b 筋萎縮性側索硬化症
		c 多発性筋炎・皮膚筋炎
		d 重症筋無力症
		e 多発性硬化症
		f ニューロパチー(Guillain-Barré症候群を含む)
		g 末梢神経損傷(腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む)
	E 運動発達系	a 脳性麻痺
		b 二分脊椎
		c 運動発達遅滞
		d 重症心身障害(Down症を含む)
	F 呼吸・循環系	a 慢性閉塞性肺疾患
		b 虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)
	G 代謝系	a 糖尿病
		b 腎機能障害
	H 感覚器系	a 視覚障害
		b 聴覚・前庭障害
	I その他の疾患・障害	a 摂食・嚥下障害
		b 排尿障害
		c 褥瘡
		d 熱傷
		e 悪性腫瘍
	f 浮腫	
J 廃用症候群		
K 保健・福祉領域	a 予防保健医学	
	b 産業作業療法	